

授業科目名	対象学科・専攻	年次	期別
保育内容の指導法（表現Ⅰ（音楽・造形）） Teaching Methods of Contents of Child Care and Education (Expression I)	児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
科目	施行規則に定める科目区分又は事項等		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員名
			田中 奏子（音楽） 縄田 也千（造形）
演習	2	必修	担当形態
			単独
全体目標及び概要【音楽】			
<p>豊かな感性はどのようにして生まれるのか。 授業で様々な表現活動を通し、子どもたちが創造性を深められるような援助の仕方を学ぶ。 またその状況に適した応用などを学ぶ。</p>			
一般目標及び到達目標【音楽】			
<p>(1) 幼児の表現の姿や、その発達を理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 幼児の遊びや生活における領域「表現」の位置付けについて説明できる。 2) 表現を生成する過程について理解している。 3) 幼児の素朴な表現を見出し、受け止め、共感することができる。 <p>(2) 身体・造形・音楽表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 様々な表現を感じる・みる・聴く・楽しむことを通してイメージを豊かにすることができる。 2) 身の周りのものを身体の諸感覚で捉え、素材の特性を生かした表現ができる。 3) 表現することの楽しさを実感するとともに、楽しさを生み出す要因について分析することができる。 4) 協働して表現することを通し、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。 5) 様々な表現の基礎的な知識技能を生かし、幼児の表現活動に展開させることができる。 <p>理解している。</p>			

授業内容と進め方【音楽】		
回数	授業内容	到達目標の番号
1	幼児と表現、音楽表現について理解する（オリエンテーション）	(1) - 1)、2)、3)
2	音楽を中心とした音楽劇について知る	(2) - 1)、2)、3)
3	「表現あそび」を体験し、幼児の感性と表現について学ぶ	(1) - 1)、2) (2) - 1)、- 2)
4	「音あそび」を体験し、イメージ活動の基礎を学ぶ	(2) - 1)、2)
5	「音楽とイメージ」について考え、感情と音楽の関係について学ぶ	(1) - 2) (2) - 2)、4)、5)
6	「即興演奏」や「表現あそび」を通して、言葉と動きの関連性を学ぶ	(1) - 1)、2) (2) - 2)、3)
7	「即興演奏」や「音あそび」を行い、音とイメージの関係を学ぶ	(2) - 1)、2)、4)
8	グループ練習。 絵本からイメージする音づくりを通し想像力を高める。	(2) - 2)、3)、4)、5)
9	グループ練習による創作活動を行う	(2) - 2)、3)、4)、5)
10	グループによる創作活動の練習①	(2) - 2)、3)、4)、5)
11	中間発表。各グループで評価しあう。	(1) - 3)、(2) - 3)、4)
12	グループによる創作活動の練習② 最終確認	(2) - 2)、3)、4)、5)
13	創作発表①音楽（演奏）を中心とした音楽劇グループの発表	(1) - 3) (2) - 1)、4)、5)
14	創作発表②表現（演劇）を中心とした音楽劇グループの発表	(1) - 2)、3) (2) - 4)、5)
15	保育者として必要な表現力や想像力について、また、保育現場での理想的な表現活動について話し合う。	(1) - 1)、(2) - 5)
成績評価方法	毎回の学習状況（関心・意欲・態度）50%、発表点（表現力）25%、レポート（理解力・判断力）25%	
テキストおよび参考文献	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼児の音楽教育（神原雅之 鈴木恵津子他 教育芸芸術社） うたっておどっておもちゃ箱2（鈴木 恵津子 教育芸芸術社）	
メッセージなど	この授業は、受講者自身が豊かな表現力、コミュニケーション能力、を獲得するための内容です。表現力豊かな子どもを育てるには、接する保育者の想像力や表現力を磨くことが必須です。	

全体目標及び概要【造形】

保育内容の各領域を総合的に捉え表現活動を中心に乳幼児の発達段階に応じた保育内容の展開や指導法を学ぶ。形、色、手触りなど様々な表現方法を使って表現活動の特徴や面白さを確認し応用や発展を考え実践を重ね、総合的な表現活動を構想、計画、指導、実践する力を身につける。

一般目標及び到達目標【造形】

- (1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「表現」ねらい及び内容を理解する。
 - 1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい、内容、構造を理解している。
 - 2) 領域「表現」の内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。
 - 3) 幼稚園教育における評価の考え方を理解している。
 - 4) 領域「表現」に関わる幼児が身に付けていく内容の関連性及び小学校教科書とのつながりを理解している。
- (2) 幼児の発達段階を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を設定した保育を構想する方法を身に付ける。
 - 1) 幼児の表現活動の特質を視野に入れた保育の構想の大切さを理解している。
 - 2) 領域「表現」の特性を考慮し、幼児の発達に合った教材、材料の活用法を理解し活用できる。
 - 3) 指導案の構造を理解し、設定保育を想定した指導案を作成することができる。
 - 4) 模擬授業の計画を練り、経験した後に、その反省点を踏まえ、改善できる。
 - 5) 領域「表現」の特性に応じた知識、技能、指導法を身に付け、向上に取り組むことができる。

授業内容と進め方【造形】		
回数	授業内容	到達目標の番号
1	表現とは何か、その中の領域「造形表現」の意義を理解する	(1)－1) (1)－2)
2	表出と表現の違いを、実際の幼児作品を観察して理解する	(1)－2) (2)－1)
3	表現活動の3系論、拇指対向性、円の終結を理解する	(1)－1) (2)－1)
4	0歳～6歳までの幼児画を観察し各年齢の特徴を理解する	(1)－2) (2)－1)
5	絵の具、パス、竹ペン、筆等の主な用具の特徴を理解する	(2)－2) (2)－5)
6	絵遊び(線遊び、記号遊び、みたて遊び)の指導法を学ぶ	(1)－2) (2)－2) (2)－5)
7	幼児のハサミとノリの使い方、指導法を学ぶ(切り止めなど)	(1)－2) (2)－2) (2)－5)
8	紙の種類について学び、季節に合わせた美しい折り紙、切り紙、壁面構成が出来るようになる。	(1)－2) (2)－2) (2)－5)
9	季節に合った造形遊びの方法を学ぶ(色水遊び等)	(1)－2) (2)－2) (2)－5)
10	モダンテクニック① ドリッピング、コラージュなどの美術史的由来を知り、理解する。	(1)－2) (2)－2) (2)－5)
11	モダンテクニック② 染め紙、マーブリング、洗い絵、フロタージュのテクニックを学び、幼児造形に活用できる	(1)－2) (2)－2) (2)－5)
12	モダンテクニック③ デカルコマニー、パチック、スクラッチ、ステンシル他のテクニックを学び、幼児造形に活用できる	(1)－2) (2)－2) (2)－5)
13	小学校図画工作の教科書を見て関連性を学び、評価の方法を学ぶ(否定しない、良さを褒める、保育士の好みに合わせない、など)	(1)－2) (1)－3) (1)－4)
14	授業から好きな題材を選ぶ。技能優先ではなく、「子どもの心」を育てる「指導案」を立案できる	(2)－3)
15	指導案をもとに設定保育を実施し、年齢に応じた造形指導法、評価方法を身に付け、更なる向上に取り組むことができる	(2)－4) (2)－5)
成績評価方法	毎回の学習状況(意欲・感心・態度)30点 作品提出(完成度・技能・発想力)50点 レポート(理解度、思考力)20点	
テキストおよび参考文献	テキスト：幼稚園教育要領、幼保連携認定こども園教育・保育要領 保育内容の指導法(表現I(造形)) 山口短期大学 参考文献：林建造他 領域「表現」国文書院	
メッセージ	子どもの絵は、頭から手足が出ていて不思議です。でも意味があるのです。子どもの心育てる造形指導法を学びましょう。	